夕刊　九月一日　日刊

常磐毎日新聞

定價一部金六錢　一ケ月金五拾錢　郵税五厘
廣告料五號七二字詰一行金五拾錢
日曜祭日の翌日休刊
發行兼印刷人　川崎文治
福島縣石城郡平町長橋町三五
發行所　常磐毎日新聞社
電話六三〇番
印刷所　常磐毎日印刷株式會社

北滿便り

◎寧◎古◎塔◎紹◎介

（八）

日本憲兵隊
草野村出身
邊渡美太郎

○團は入城以來寧古塔の治安維持に萬全を期しつゝありし折柄六月十五日午後十時卅分頃兵匪約五十名は不敵にも將軍墳附近より渡河し一部を以て騎兵隊宿舍を主力を以て西部下士哨に來襲せしも小林小隊の增援に依つて西北方に擊退せり敵は退却に際し附近の民家に放火せしも損害少く直に鎭火す尙ほ○團は軍司令部の命により着手したる敦化寧古塔間の自動車道路の修築は既に東京迄進捗し一方敦化より道路修築をなしつゝ北進の鶴見支隊は東京城に其先遣部隊は寧古塔に七月四日到着せり。

鶴見支隊は東京城に入城する迄六十餘日を盡し其の間大小合せて實に數回の戰斗を交ひ中でも官地の戰斗には戰死者十三名を出し實に苦戰せるを物語れり、尙又此間の戰斗で敵の最も多數ありしは約五千名にして之等を擊退しつゝ重大なる任務を完成して今日再び混成第○○○○團長の指揮に入りたるは吾等一同衷心より感謝する處なり。

（敦化支隊の行動は血の出るが如き行動なれば詳細に書くべきなれど行動異なりし爲め不明に付き之れ迄）

（完）

結婚前後

（6）

『黒土會』
山田案々子

夏の日はトップリと暮れて廣い野面に二つ三つ螢が光り出した。彼女は實家へ戻るべく闇を幸ひにそつと家を脫け出した。

村の中央を流るゝ川、その川が曲り曲つて遙かあなたの彼女の村へと通ずる。川岸には盛んに螢が飛んで水に映つては消え消えては映つたりした。不圖銀の鈴を振る樣なマンドリンの音がするので彼女は足を止めた。

左手にコンモリ繁つた杉木立、それは村外れに近い村岡の屋敷に違ひなかつたそしてマンドリンの音はそこから洩れてくる。彼女はフラ〳〵と狐につかれた樣に杉木立の間よりボンヤリ見える灯を便りに道を外れて畑へ忍び入つた。畑には大分伸びた茄子や胡瓜らしいのがシットリ露に濡れてゐる。

明るい電燈の下には果してそこには道夫がマンドリンを抱へて一心に譜をみて歌ふ姿が硝子を越して手にとる樣に見えた。

呪れの日過ぎて汝と眠れ樂し伏せ屋我等集いてねぎまつる天つ星ゆらぐともそれはまぎれもなくジョ

別れ

伊藤千代

ほゝゑんで、ほゝゑんで別れたかつたけどつい、泣いちやつたのあのひとも、私もそして言葉少なく別れたのだつて、ほゝゑみと別れとは、あまりにも餘りにも矛盾してるんでもの

若き生命

同人

少女なるが故に
今日も一日
たのしく過しました
明日もまた
うれしく過しませう
あさつても
笑つてくらしませう
二度と歸らぬ若き日を

セランの子守歌だつた。哀愁を湛えた微妙の調べは痛める彼女の心をヒタヒタと癒す樣だつた。

そして又彼女の心を歌ふ樣でもあつた。

あゝ彼女は深く溜息をついてひそかにそこを離れたもう愈々あの家も此の人とも永遠にお別だと思つた時重い任務を課した樣な中にも悲しさがあつた。

同時に又實家の明るい電燈の下に驚く父母や珍らしがつて取捲く弟妹の姿が思出され再び螢の光る川邊へ出た。

ねむれよあし迄
マリアよ守りませ

未だ歌は續いた。あゝして來年から敏子さんと二人で……と思つた時、妙にいらだたしさが胸に込み上げてきた。

そして遂堪らなくなつてワッと聲立てゝその場に泣き出して終つた——

（終り）

運動靴は……
月星
品質は斯界の王
名入れ金具附きの
サービス
平田町
大塚運動具部
電話七七番

看護婦急派の求めに應じます
平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

貸切は
電話三四三番の
ミシサ
昭和タクシーへ!!!

旭硝子株式會社製品
赤菱印
板ガラス
製造販賣
菓子食器
硝子壜
其他各種
松崎硝子製作所
平町新川町（電話一四二番）
◇支工場　仙臺市榮町（電話五九七番）

セメント
壁用材料
コールタール
ペンキ塗料
板ガラス
磐城セメント株式會社
代理店
西村屋藥舗
平町二丁目「電三」

◎期　日　昭和七年九月十八日（第三日曜）
◎場　所　平町第三小學校庭
◎競技方法　タイム滯空競技
第三回
郡下模型飛行機競技大會
◎賞品　一等高さ一尺の大銀カップ及び銀賞牌、銀メタル其他十五等迄澤山進呈奮て多數御參加あらん事を！
規定及び詳細は主催店へ御問合せを乞ふ
主催　平町　いづみや飛行機材料店
後援　平町　常磐毎日新聞社
東京　ダイヤモンド模型飛行機　東京研究會

平町新川端（釜屋新宅向）
內科
一般
醫學博士　難波陸
電話五〇二番

呉服や綿類が一躍 五割方の値上

變態的なので仕入手控へ ひたすら先行を觀望の姿

爲替相場の影響やら匡救景氣に煽られて昨今平町の呉服類や綿類等も頻りに强氣を含んで居た處

株相場の沸騰等に一層値上り氣配を促され三井呉服店の語る處に依ると銘仙や絹物類は一躍五割高となり晒木綿の如きも一反卅錢のものが四十五錢に飛び上つたまた吉村製綿店の談に依れば蒲團綿は上物一圓が三圓となり中物一圓五十錢が二圓卅錢、下物一圓が一圓五十錢の高調子との事而の兩商店共に此の變態的な値上りが何時迄續くが疑問で仕入を手控え先行きを觀望する計りでなく

購買力が豊でないから値上りの相場通りには賣り憎くひたすら安定を待つて居るとの事である

公民學校職員決定

五日から授業開始

既報平商業學校内平實業公民學校は愈々來る五日より授業を開始する事になつたが本日迄の願書受付數は三十二通にて職員は左の如く決定された

(校長)矢野泰次郎(教諭)服部甲　中村政　武川信夫　宮澤勝三　大澤勝吉　泉田亮

磐中對平商

新人チーム 近く試合を

磐中對平商新人チームの野球戰は今月中旬磐中グランドに於て行はれる事になり兩チーム共猛練習中である

平第一校から磐中へ

入學した生徒の成績

平第一小學校から本年磐中に入學した三十七名の一學期の平均成績は左の如く

優	九	甲 一二三　乙五

る良好であると

在滿兵

慰問協議

けふ町村長が

石城郡町村長支會評議員會は本日午前九時より平町役場會議室にて開かれたが打合せ事項は本郡出身在滿兵への慰問品發送及び農村救濟土木事業計畫等に就いてであると

ツト虫被害調査

農林省から技師が來郡

農林省高橋農林技師は石城郡下各村に於ける稻苞虫の被害調査の爲め去る廿九日來郡の豫定であつた處視察の都合で昨本一日夜來郡する事になつた

縣下對抗の ドッチボール

來る十八日平第一校に

縣下各小學校對抗ドッチボール大會は來る十八日午前八時半より平第一小學校グランドに於て行ふ事になつたが昨年の優勝校は尋常科入山、高等科久之濱であつたと

長者議員選擧會場

來月十日に執行されたる貴族院多額納稅議員の選擧は濱三郡の選擧會場は平第三小學校と決定選擧長は酒井百人氏であると

大浦梨打合せ

石城郡大浦村果樹實行組合では來る五日午後二時より村役場に於いて梨の共同出荷の打合せ會を行ふと

平映畫界

回平館　『松竹ニュース』松竹現代劇　八雲愚美子　岩田祐吉主演『麗人の微笑』日活時代劇　大河内傳次郎　片岡千恵藏　伏見直江主演『明治元年』外に東京レビュー團實演

回世界館　新興キネマ時代劇　雲井龍之助　泉清子主演『旅鴉一本刀』新興時代劇　近松英三郎　生野初子主演『室町情史』新興現代劇　水原玲子　津村博　松本泰助　山路文子　主演『心の曉』

繭市況(一州日)

△四倉市場

〔白繭〕二千二百三十四貫(最高)四十七圓五十錢(最低)三十二圓五十錢(馴)四十一圓二十二錢

△植田市場

〔黄繭〕二百五十貫(最高)三圓九十五錢(最低)三圓七十錢(馴)三圓九十錢

平町人事

回出生

△禰宜町一四　日野眞吉氏三女　キミ

△胡摩澤一三、五十嵐三穗司氏四女　トミ

回死亡

△田町五一、坂本幸次郎氏長男　功

△立町九四、新妻友三郎氏弟新妻幸太郎

匪賊掃蕩夜話(3)

滿洲奉天駐劄軍曹　平町出身　矢野重光

四、槍を持つての戰爭

六月十九日我が小隊は大行李の援護を命ぜられて部隊の後方を前進中道路右脇の山に陣地を構築して我が軍の來るのを待つて居た敵を發見我部隊はこの敵に攻撃を開始した約二時間にして敵の陣地を占領して大小行李共前進する事が出來た

其の後我小隊は大行李の護をしながら前進中敵襲の聲、後方を見れば槍を持つ敵である小隊長、及小銃分隊は右脇の山に登りて射撃を開始した輕機分隊は右脇より射撃をした先に來た者は餘程討たれた樣で有た後方の者は退却を始めた、退却をする者を山の上より射つたが斃れる者は僅かで有つた。

槍を持つ敵とは上官より聞いては居たが、飛道具のある今日槍を持つて戰斗とは驚いた彼等は、無慘にも唯地方の土民を苦しめるばかりである、敵は友軍に對しては抵抗する事も無く北山に逃げかくれもう友軍が通り過ぎた後再び出て地方の土民を苦しめるであらう

貸切の御用命は！
獅子吼(シシク)(四四九)ノ勢(イキホイ)デ
眞先(マッサキ)ニ……(マッサキ)
三九二(ミクニ)タクシーへ!!!

専門　内科一般
宅診　往診　内科は何でも診療致します　呼吸器病ばかりではありません
平町南町六五
川井内科診療所
電話一八一番
醫學士　川井重之
女醫　川井安子

外科
專門　X光線科
上田外科醫院
平町南町
電話一二九番

赤井嶽祭禮列車の機關車が脫線

驛頭に乘客溢れて大騷ぎ

ポイントの故障

今朝午前五時半頃平機關庫運轉手山田五郎（三八）及び助手佐々木政夫（二）の兩名が臨時列車の八千七十五號機關車を運轉し赤井驛に着し直ちに多數祭歸りの人々を乘せ平町に引返すべく機關車の入替作業中ポイントの故障から大音響と共に機關車が脫線、急を聞いた平保線區事務所より多數工夫が急行復舊に努めた結果約五十分遲發し無事平驛に着いたが祭禮下山客がホームに溢れて一時は非常な騷ぎであつた

始業式

欠席生徒數

平町各中等學校及び各小學校にては本日一齊に始業式を擧行校舍內外の大掃除を行つたが休暇明け第一日目である今日の欠席生徒數は左の如くである

磐中二八　平商一二　磐女一七　第一三九　第二三四　第三二一

見返り抵當を……

奇貨として橫領

裁判で勝つて繩付きとなる

豫審終結して公判へ

石城郡上遠野村大字上遠野自動車營業者鈴木子之吉（五五）に對する橫領詐僞事件は平支部藤原豫審判事取調中の處

本日終決　し平支部の公判に廻されたので近日公判開廷さるゝ事となつたが事件の內容は當時大体所報の如く被告は大正十一年三月同村瀨谷義春に對し抵當權設定の下に金

二千圓を　貸付けた處返濟せずとの理由にて昨年十月平區裁判所に貸金請求の訴を提起し勝訴の判決を受けたが事實は瀨谷義春が自分の財產を保護する目的から借金あるが如く裝はん爲め子之吉の名義を借用し抵當權を　設定したのを子之吉が奇貨とし裁判沙汰となし遂に前記の如く勝訴の判決を受けた事が發覺するに至つたのであると

眞木辯護士

檢事局の取調を受く

▽……昨日長時間に亘つて

▽……業務上橫領嫌疑らし

平町古鍛冶町辯護士眞木恒氏は昨日平檢事局に於て長時間に亘つて市川主席檢事の取調べを受けた事件の內容は極秘に附されて居るが業務上橫領に關する嫌疑らしく近く其の眞相は判明するに至るであらうと、尙ほ同辯護士は以前にも同樣の事件を惹起した事があるが其際は示談が成立して事濟みとなつた

平裁判たより

双葉郡淸戶村大字中濱字南原四十四番地古物商三原兵吾（二九）は昨年一月より本年四月迄肩書店舗に於て福井松之助外十數名より中古自轉車を買受け乍ら所定の帳簿に記入せず古物商取締法違反として罰金二十圓に本日平區裁判所に於て略式命令を以て處分された

無免許按摩二件

夫々罰金刑を科せらる

石城郡磐崎村大字藤原字馬喰坂三五番地油魚商廣瀨忠一郎（六九）は無免許にて本年四月下旬双葉郡大野村大字下野上字鮏澤富永三男に灸術を施し料金三圓五十錢を受領したる外同年六月上旬迄の間に郡內及び茨城縣下に於て灸術營業をなし鍼術灸術營業取締規則違反として罰金二十圓また同郡勿來町大字窪田字上遠野十四番地越川勇次郎（三〇）は無免許にて同町小野七三郎外數名に對し一回七十錢の料金にて灸術をなし按摩術營業取締規則並に鍼術灸術營業取締規則違反として罰金三十圓に何れも此程平區裁判所にて略式命令に依り處分される

明日のラヂオ

二日

今晩の部

全運動に就て　宮城縣警察部長鈴木登

▼後六、〇〇　子供の時間　お話、山室軍平

▼後六、三〇　夏期英語講座　二十三　鹽谷榮

▼後七、三〇　講演「新興日本の建設へ」首相官邸より中繼　內閣總理大臣齊藤實　商工大臣中島久萬吉　農林大臣後藤文夫

▼後八、三〇　獨唱「新日本建設の歌」吉田二郎

▼後八、五〇　連續浪花節「水戶黃門記」第一席　春日亭淸吉

▼後九、三一　滿洲より　全國ニュース　氣象通報　番組豫告

明日の部

▼前六、三〇　家庭教育論座「子供の生活の見」L島文理大學教授　文學博士　久保良英

▼前七、〇〇　エスペラント講座（十六）日本エスペラント學會　國際常設代表　進藤靜太郎

▼前九、一〇　料理獻立「鳥賊のけんちん蒸」河內捨松

▼前一〇、三〇　婦人講座「姙娠と生殖ホルモン」醫學博士　福井繁子

▼後〇、〇五　獨唱と管絃樂獨唱、山田道夫、コロナ、オーケストラ、指揮、佐藤淸吉

▼後二、〇〇　婦人講座「職業婦人に就て」（二）市川源三

▼後六、〇〇（子供の時間）物語「お星樣の豫言」牧野周一、ピアノ伴奏指揮藤井ヒソム

▼後六、三〇　夏期英語講座（二四）鹽谷榮

▼後七、三〇　講演「家畜衛生週間」猪股博

▼後八、〇〇　箏曲「六段と相生の曲外」廣岡福子外

▼後八、三〇　歌澤　歌澤寅右衛門社中

▼後八、五〇　連續浪花節「水戶黃門記」（第二席）春日亭淸吉

天氣豫報

今晩は南東の風曇り驟雨の氣味　明日は南西の風晴れたり曇つたり驟雨模樣

「山頂」の「歡樂」境

雨の爲めに台なし

昨日の闕伽井嶽藥師祭禮

既報昨卅一日の闕伽井嶽藥師の祭禮は夕方から幾分天候を危ぶまれたが郡下を始めに茨城宮城其他から參詣の善男善女は一萬を突破したが夜半から降り出した雨の爲め翌朝迄續く筈の歡樂境が滅茶々々の台なしとされ境內は非常な雜踏であつた

時節外れの火事

火消つぼの殘火から

石城郡平窪村大字下平窪字八木內一〇金成キヒ（三〇）方より昨夜午後九時頃發火住居一棟を全燒して同十時鎭火したが損害約千圓と見られ原因は火消壺の殘火の不始末らしいと飲食をなし逃走せんとして其筋に突出され本日平署で取調の結果外にも自轉車の窃盜其他を自白したと

ロハ飲男

餘罪も自白

平町胡摩澤一〇四居住菓子職人高津有進（二）は昨卅一日午後二時頃石城郡小名濱町字上町五五の料理店鈴木ウメ方で酌婦大內ナツ（一八）を相手に六圓八十錢の無錢

平職業紹介所報告

回求人の部

△女中　十六才尋卒　月三圓（平町某）

△賣子　二十五才以下　尋卒　賣上の二割給（平町某）

△看護婦　見習十七才以上　高卒　給料面談（平町某醫院）

△女中　十八才尋卒　給料面談（平町某）

回求職の部

△湯屋三助　三十七才　中三修　給料面談（東京市某）

△米穀店員　十六才　尋卒　給料面談（平町某）

△トラック助手　二十三才　讀書し得　給料面談（高久村某）

藤原鎌足

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演
近藤紫雲畫

第百四十席　女流劍客里見靜枝

腕試めしの相手

茲は麹町貝坂上杉浪人長谷部傳藏、籔下平八、秋田丈助、以上三人共同の住宅店賃は一年半も滯つてゐる家主が催促に來ると刀を拔いて脅す然し遊んではゐない刀の柄卷をしてゐる

傳『オイ籔下、今日は冷えるナ、腹に小袖を著るから三河屋から酒を買つて參れコレ、何故手を出す』

平『酒代を出しなせえ』

傳『酒代があるほどの餘裕があれば居酒屋へ行つて俺が一人で飲む、なんとか辨舌を揮つて一升ほど借りて來イ』

平『無理な事を云ふナ、三河屋には大分借りがある、酒ばかりでは無い味噌又は鹽までも借りてゐる』

傳『それは貴公が云はんでも知つて居る、その借りのある所へ參つて改めて借りて參るが才子だナ、一升取つて來イ』

平『俺は行くことは出來ねえ、貴公が參つて番頭に談判いたすが宜い』

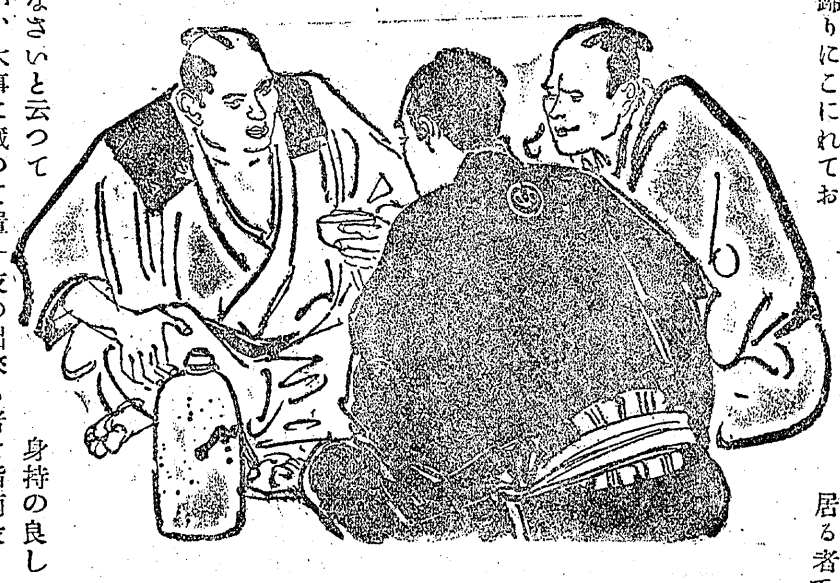
傳『俺が行くほどならば貴公には頼まぬ、さアこれで酒を買つて來イ』

懷中から出したは二朱

籔下平八はそれを手に取り不思議さうに見てゐたが

平『奇代だナ、どうして金を持つてゐた』

傳『それはナ、立花の家來の宮本佐仲の許から貰つて來た、歸りにこにれてお



て來ナ、何に二朱ではそれまで手が廻らぬとさうであらう、それでは酒と魚を買つて來イ』

籔下平八出て行つた、酒を一升に鮭の鹽引を買つて來た、茲で三人車座になつて酒を飲み始めたが長谷部傳藏が

傳『先日も話した通り俺は先づ立花家に奉公する事になるであらう、その役は師範代だ、立花侯は十萬石以上の大名でありながら江戸には指南番と定まつた者が居らぬ、町方に道場を開き居る者で身持の良しい技の出來る者を指南役として月に四五回出張さして、若侍に劍術なり槍術なり學ばせる、今度俺が奉公すればその者の助手になるであらう、又俺の身が定まれば貴公方も推擧して奉公の出來るやうにするであらう』

平『宜しく頼む、ところで長谷部、どの位食祿をくれるであらう』

傳『新參の事とて多分の祿はくれまい、先づ三十石か五十石、とても百石は呉れまい』

平『さうかまア〳〵この三人の内で一人でも身の落着くことになればその縁に依つて殘れる者も奉公する事にもなる、氏子繁昌は芽出度事だ、知己の者が立身いたすと、それに引かれて零落してゐる者も世に出る、まア、何にしても芽出度事だ』

傳『さう云ふわけゆゑ茲當分の間は身を堅固に致す、諸方の道場を荒し廻る事などが邸に知れると奉公も出來なくなる』

平『最もな事だ、この當座品行を正しくしろ』

傳『まア〳〵俺の出世を待つて居れ』

平『芽出度々々々』

と大層喜んだ、翌日長谷部でん藏が立花の家來宮本佐仲の許に參ると

佐『長谷部氏、重役にも申し入れ又重役より殿様に申上げて其許を師範代として抱へる事になつたが茲に面倒な事が出來た、それはどんな事だと申すと、其許にどれほどの技があるかそれを試した上果して師範代をいたすほど手練があらば五十石にて召抱へる事に致すと恁う、老臣共は申して居る』

傳『それは御尤も、お供方へ狼籍いたした町人共を取り押へた事にては手前の腕がよくお判りにならぬ、依て技を試みし上御家臣になさるとの事は御老臣方としては道理に叶ひしお考へ、未熟ながら多年學びし劍法を御覽に入れるであらう』

定めし當日は殿様の御前にて手の中を示す事と存ずるが、シテその相手は何者でござるか』

佐『當家出入りを致し居る里見と申す者でござる』

傳『エッ、里見、それは上槇町に道場を開き居る安房の豪士ではござらぬか』

佐『よう御存知だナ』

傳『あの里見でござるか』

と云つたがでん藏は驚いた

門專　科外　病柳花
木村外科醫院
■入院自炊の便あり
平町五丁目橋際
電話三〇九番

藤沼醫院
平町紺屋町
電話五〇七番

磐城名産
鰤節鯖
◇配達敏速◇
魚屋岡
最優最大日本生命平代理店
志賀盛榮
平四丁目　電二一三番

市原醫院
平町田町（電話一一四番）
內科、小兒科　市原卯太郎
外科一般、婦人科　市原陸郎
外科、梅毒、淋毒　市原三三男
■入院隨時

季節御料理
柳川一人前　金一十五錢より
うな丼　金三十五錢
蒲燒　金五十錢
金五十錢より
右大々勉强出前迅速
◎滋養豐富！風味美味！
是非一度御試食を……
大蒲燒・鳥料理
壽司・折詰仕出し
魚榮
田町（電話四二四番）

度量衡、計量器、吸入
用酸素、酸素吸入器
關內藥局
電話四〇番